

# 運転免許証返上の覚悟

角 洋子（4組）

前の東京五輪の年に車の免許を取得して半世紀、無事故無違反、自損事故無しでゴールドドライバーを続けていましたが、一昨年初秋に、車ならぬ私がダウンしてしばらくハンドルを握れなくなりました。

傘寿まではこの思いもむなし、主治医の「もう止めたら」に逆りう勇氣も無く、二年近く時は過ぎ行き・・・。

さすがに次回は、車検を諦めて愛車を手放そうと考えています。

そのときは胸がキュンと、恋人と別れるよう、ではないかと。

恋人が去った後は、幸いというか今年初めから「フランス語でシャンソンを歌う会」の先生の助手役を引き受けていますので、そこで遅咲きの小さな雑草の花にもなれたらと今から心の準備をしています。

且つ又歩く楽しみも見つけて、日々を自然体で過ごして行きたいと願う昨今です。



## 八期通信アーカイブス

2006年 第12号  
木場 義孝（1組）



ワー！綺麗に咲いていますね。満開のアメリカ花水木を見上げての通りがかりの人の挨拶である。

5月の連休で帰ってきた7歳と5歳の孫達と道端で近くの山で、採った竹で竹馬を作っている時、周りの住人達が寄って来て、懐かしいな！と色々竹馬の作り方談義をしている時のことで、最近は地区住人の挨拶人も多くなった。

孫達は竹を鋸で切ったり、ノミで削ったりが危なっかしい手つきながら楽しそうであった。また、完成した竹馬も支えないと乗れなかったが、代わる代わる何回もせがまれた。

アメリカ花水木は、白いシンプルな花の後は、新緑の葉っぱが夏場の日陰をもたらし、秋には鮮やかな赤褐色の紅葉となり、紅葉の後は、さくらんぼのような綺麗な赤い実となり、小鳥の冬の餌にもなる。

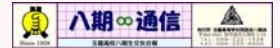
枝葉の剪定や、道路に落ちた落葉や、花卉の掃除など手間はかかるが、1年を通して有用な樹木である。

37年に大学を卒業して、空調メーカーに奉職し、65歳まで約43年間、主に商品開発に係り、会社を介して生活の糧を得ながら創造と信頼を生きがいにして、社会に貢献出来たことが誇りでもある。欧米の物まねでスタートした会社も、今では技術を誇示した商品やシステムを欧米に販売するまでになっている。

会社を退社して1年半になるが、この間に一途なサラリーマン生活の垢落しとして、温泉などで心身の静養を図りながら、シニアとして健康と生活のハリをどのように維持していくかについて模索し、実践してきた。

## 八期通信アーカイブス

2009年 第15号  
中元 芳彦（2組）



還暦の頃、連続して病に侵され苦しい思いをした。それまで住んでいた横浜市街地は、ケアのための通院には便利であったが、空気が気になっていた。

そこで、きれいな空気を求めて5年前にこの地に越してきた。緑が多く残っていて、小鳥のさえずりも自室で聞くことが出来る。越してきてから散歩の習慣が付き、暇を見つけては歩きに出る。散歩のお陰ですっかり健康を取り戻せた。

今では散歩が日課で、時々、尾根道のハイキングコースに分け入り、鎌倉まで足を伸ばしている。

私の好きなコースは、天園から早春の花・水仙で有名な『瑞泉寺』に下りるコースである。途中、鎌倉幕府最後の執権北条高時の首塚と伝える『首やぐら』がある。

やぐらは、中世の上流階級（武士や僧侶）の横穴式の墳墓で、鎌倉市旧市街を取り巻く丘陵部などに密集して存在している。

瑞泉寺で親類の墓参りをして引き返すと、往復約4時間のハイキングとなる。

帰り道（ハイキングコース）の途中、横道にそれて十二所神社のコースを辿ると、鎌倉街道下の道・金沢街道に出る。

今では旧道に平行して車が通る舗装道が整備されているが、古道金沢街道は、比較的昔の雰囲気を残している。

十二所で車道から右にそれると古道に出る。やがて行くと『太刀洗』の湧き水場に出る。

